

番組審議会資料（第23回、令和6年9月24日開催）

1 開催年月日：令和6年9月24日（火）

2 開催場所：私学会館 アルカディア市ヶ谷（7階 白根）

3 委員

委員総数 7名

出席委員数 7名

出席委員の氏名：朝比奈豊（株式会社毎日新聞社 名誉顧問）、

足立盛二郎（元公益財団法人 日本棋院理事、元ゆうちょ銀行取締役  
兼代表執行役会長・日本郵政取締役）、

兵頭俊夫（東京大学 名誉教授）、

音 好宏（上智大学 文学部 新聞学科 教授）、

中村幸雄（オフィス・サンライズ 代表、

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 顧問、

元株式会社損害保険ジャパン 代表取締役専務・監査役）、

吉原由香里（囲碁棋士／日本棋院理事）

清水市代（将棋女流棋士／

公益社団法人日本将棋連盟 常務理事）

放送事業者側出席者名：今井 環取締役会長、倉元健児代表取締役社長、

業務部編成より遠藤 健、高田智子、渉外部より嶋田昌平、望月 陵

4 議題

- ・ 審議：「藤井聡太八冠のスゴさに迫る～新時代の幕開け～」（将棋）、  
「第45期女流王将 西山朋佳の素顔」（将棋）
- ・ その他の番組・特別編成などの紹介

5 議事の概要

(1) 以下の番組に関して、審議（審議内容は「6」にて後述）

【将棋】「藤井聡太八冠のスゴさに迫る～新時代の幕開け～」

（2024年6月8日初回放送）

【将棋】「第45期女流王将 西山朋佳の素顔」（2024年6月29日初回放送）

(2) その他の番組・特別編成などの紹介

3月）藤井八冠獲得後の「第49期 棋王戦コナミグループ杯」防衛戦を生放送。

4月）囲碁棋士・将棋棋士が麻雀対決、「第5回 麻雀王決定戦」がスタート。

5月）ゴールデンウィークには囲碁若手棋戦「第3回テイケイグループ杯 俊英戦」を生放送。

6月) 藤井八冠のスゴさに迫る特番、新たに将棋「ヒューリック杯 第95期棋聖戦」を生放送。

7月) 新棋戦「第1回 日本女子囲碁リーグ」チームスポンサーとして参戦。

8月) 囲碁24時間特集。「ALSOK杯 第74期王将戦」挑戦者リーグ入りを懸けた二次予選を生放送。

(3) (2) の中から以下の3つを紹介

- ・「第1回 日本女子囲碁リーグ」
- ・「ヒューリック杯 第95期棋聖戦」
- ・「特別編成 タイトルホルダー特集」

## 6 審議内容

(1) 【将棋】「藤井聡太八冠のスゴさに迫る～新時代の幕開け～」に関して

(足立委員) 物凄い人だ。どこにでもいる人に見えて、ミスをしない。その継続力が最後の逆転力に繋がる、ということを番組内で言っていた。一般の人が見て馴染みやすく、非常に良かった。

(朝比奈委員) ポイントを絞って質問しており、引き出し方が上手かった。感心したのは、師匠は子供の頃から見ているので「変化」を見ている。変わったところでは、読み負けしない所。師匠から見ると、序盤が上手い。含蓄のある言葉を良く引き出した。羽生さんは切れ味鋭い変化球。藤井はグイグイ来る。読み負けてしまう。いろんな言葉を引っ張り出した。

(音委員) 棋士として背景の部分、「人間性」を見てもらう番組。「人間性」という言葉は受け手が感じ取るもので、タイトルに入れない方が良い。

(中村委員) 伊藤かりんさんは進行等、非常に良かったが、選んだ基準は？

(放送事業者) 飽きることなく見ることができ、メリハリの利いた質問・進行ができる方を選んだ。

(兵頭委員) 分かりやすかった。

(2) 【将棋】「第45期女流王将 西山朋佳の素顔」に関して

(中村委員) ほのぼのとしていた。

(足立委員) 精神的な落ち着きが無いとトップに立てないことが伝わった。

(朝比奈委員) 上り調子でガツガツしているかと思ったがそうではなかった。場所もいい場所を選んでいる(橿原神宮)。師匠の言葉は含蓄がある。負けず嫌いというエピソードも師匠が引っ張り出している。いいところを引っ張り出した。ただ、インタビューはもう少し突っ込んだ方が良い。男性棋士に勝った時の喜び等、聞いてみたい。

(音委員) 妹弟子も良い。掛け合いがテンポ良かった。

(兵頭委員) 橿原神宮に神武天皇が祀られており、(女流王将第1局の地) 霧島と結びついていたのが面白い。

(3) 【囲碁】「第1回 日本女子囲碁リーグ」に関して

(吉原委員) サッカー等でも、チームというのは凄く盛り上がる。これまで日本ではチームリーグ戦形式がなかったが、中韓では盛り上がっているし日本でも盛り上げていきたい。一点思うが、チーム名に地域の名称が付いていた方が良かったか。

(兵頭委員) Jリーグは最初から地域と密着していた。新聞は全国紙は苦しいが、地方紙は瓦版的なところがあり、地域名が付いていれば、この地方紙に出ることもあるかもしれない。

(放送事業者) 次回番組審議会は3月予定、その時は第8ラウンドまで進んでいるので、より佳境的なお話ができると思う。

(4) 「特別編成 タイトルホルダー特集」に関して

(放送事業者) 囲碁の3人の出演番組を、0時~24時までぶっ続けで放送した。囲碁ファンには好評だった。

(兵頭委員) 再放送しやすいように、分割して放送できるようにしておくが良い。また、番組ガイド誌に特集などのイレギュラー編成紹介欄があると有難い。

(5) その他

(中村委員) 今後のこと。高年齢層がターゲットになりやすいが子どもに焦点を当てたものもやって欲しい。先日道場に行ったら子供が凄く多くて驚いた。

(放送事業者) J:COM杯を全国各地で開催している。放送は来年2月。裾野を広げていくというのは重要。

(中村委員) 囲碁将棋100周年の番組を作る予定は？

(放送事業者) ライト層に向けて、100周年番組のアイデアをいくつか検討している。これから具体化に向けて進めて行く。

(朝比奈委員) 今年は将棋女流50周年。女流棋士の歴史、女流棋士の世界、西山さん、注目される世界になるのでは？

(足立委員) 国技館に行くと、観客の半分以上は女性。女性を巻き込むのがこれからの時代、良いのでは？

(放送事業者) 囲碁は熱量を届けるのが難しい。可視化したものを検討中。ライト層に向けた番組、一方で囲碁と将棋に深堀した番組、この二段構えで取り組んでいきたい。